

循環経済及び資源効率性原則（CEREP）の概要

循環経済及び資源効率性原則（CEREP）の概要



循環経済及び資源効率性に関する民間企業の行動を促進するための行動指針

策定の経緯

- 2021年のG7気候・環境大臣会合において「循環経済及び資源効率性原則(Circular Economy and Resource Efficiency Principles, CEREP)」の作成を日本が提案し合意
- 2022年のG7気候・エネルギー・環境大臣会合において「ベルリン・ロードマップ」が採択され、**CEREPの策定を再確認**
- これらを踏まえ、議長国として日本がG7資源効率性アライアンスにおけるCEREPの策定・交渉をリードし、2023年4月のG7気候・エネルギー・環境大臣会合において採択

背景・目的

- **循環経済・資源効率性の重要性**：循環経済・資源効率性の取組は、資源リスク、気候変動、生物多様性の損失、汚染といった世界的な問題とバリューチェーンの持続可能性に対処するために重要なソリューション
- **企業・民間セクターの役割**：循環経済・資源効率性の取組により、企業が製品や資源を経済の活動の中に可能な限り維持する持続可能なビジネスの重要性が国際社会で認識されている。
- **CEREPの目的**：企業が循環経済に関するイニシアチブを立ち上げ、行動を強化することを奨励し、政府及び金融セクターとのエンゲージメントや循環経済及び資源効率に関する自主的な行動を促進すること

概要

- 循環経済移行及び資源効率性向上に向けた企業向けの行動指針。具体的には、企業の経営ビジョンや中長期戦略等に循環経済を統合し、気候変動・生物多様性・汚染対策等の戦略と統合した取組を促進し、循環経済への移行に関するリスクと機会を特定し、循環・資源効率ビジネスへの移行を促進し、情報開示等のガバナンスを強化し、官民を含めセクターを超えた連携・対話等を促進する。

循環経済及び資源効率性原則（CEREP）の仮訳



原則 1 全社的な循環経済・資源効率性戦略のためのリーダーシップ

- 循環経済・資源効率性に対するリーダーシップのコミットメントを支持し、トップレベルの方針とガバナンスを指揮し、全社的な意識啓発を行う
- 循環経済・資源効率性アプローチを全社的な理念、ビジョン、又は中長期的な事業戦略に統合する

原則 2 気候変動・生物多様性・汚染削減に関する戦略及び行動と循環経済及び資源効率性アプローチの統合

- 人間の福利を資源消費から切り離し、気候や自然等環境の便益を最大化するため、循環経済及び資源効率性を脱炭素化やネイチャーポジティブアプローチと統合する
- バリューチェーン全体の循環性と資源効率性を高め、炭素・自然・物質に関するフットプリント及び化学物質等の汚染を削減する

原則 3 リスクと機会の特定

- バリューチェーン全体及び企業レベルにおいて、政策・法的影響、技術、競争力、付加価値、企業評価等、循環・資源効率ビジネスへの移行に関するリスクと機会を特定する

原則 4 循環・資源効率ビジネスへの移行

- 全ライフサイクルアプローチを念頭に、バリューチェーン全体において、既存および新規のビジネスモデルに循環経済・資源効率性アプローチを統合し、一次資源の消費削減及び環境負荷削減を行う
- 環境への悪影響を減らし、資源効率性を、特に、軽量化、耐久性、再利用性、修理性、リサイクル性その他価値保持プロセス、廃棄物の最小化と有効利用、再生可能物質の使用、物質代替、再生材料の投入物としての活用などの強化を通じて高めることを目的とし、ライフサイクルの観点から製品の設計とプロセスを改善する
- 再利用、製品寿命の延長、リサイクル、製品やモビリティのサービス化などのサービス経済モデル、シェアリング経済モデルなど、持続可能かつ循環ビジネスモデルを構築する

原則5 モニタリング及びレポーティングの強化

- 価値創造、ビジネスモデル、リスクと機会、効果、戦略、指標と目標、ガバナンス等の分野において、金融セクターや市民との透明性のある対話を促進するため、循環経済及び資源効率性をサステナビリティレポート等の全社的な情報開示に組み込む
- バリューチェーン全体における循環性と資源効率性の進捗を、特定された関連指標に基づきモニタリングし把握する

原則6 マルチステークホルダー・パートナーシップ及びエンゲージメント

- 資源の最大限の活用と循環性の向上を図るため、バリューチェーン全体を通じ、動静脈連携等のセクター横断的な連携やエンゲージメントを強化する
- 循環・資源効率ビジネスを促進し、また、政策要件とビジネスニーズの相互関係を下にビジネス促進を可能とするような環境整備を図るため、官民パートナーシップを強化する
- ステークホルダーの意識向上に資する循環経済・資源効率性に関する指標や情報を有する製品やサービスの提供を通じ、循環経済・資源効率性ソリューションを向上させるため、顧客・消費者や市民等と対話を行う

(参考) 大臣会合コミュニケのCEREP部分の抜粋

■ 循環経済及び資源効率性原則 (環境・パラ33)

(コミュニケ) **Circular Economy and Resource Efficiency Principles:**

Businesses can play a significant role through their value chains to advance resource efficiency and circular economy approaches. Recognizing their critical role, we adopt the Circular Economy and Resource Efficiency Principles (CEREP) as annexed, to encourage companies to establish initiatives and strengthen actions on circular economy, to promote engagement with the public and the financial sector, and to promote their voluntary circular economy and resource efficiency actions aiming to enhance resilience and competitiveness, and support sustainable and inclusive economic growth and job creation.

(仮訳) **循環経済・資源効率性原則**

企業は、そのバリューチェーンを通じて、資源効率性及び循環経済アプローチの推進に重要な役割を果たすことができる。その重要な役割を認識し、我々は、企業が循環経済に関するイニシアティブの確立と行動の強化を招請し、政府および金融セクターとの協力を促進し、レジリエンスと競争力を強化し、循環経済及び資源効率性の自主行動を促進し、持続可能で包摂的な経済成長と雇用創出を支援するため、添付された循環経済及び資源効率性の原則 (CEREP) を採択する。我々は、本原則の活用と官民連携の促進のため、B7や他の民間ステークホルダーの関与及び協力を期待する。

(参考) 首脳コミュニケのCEREP部分の抜粋

■ 環境・パラ22

(コミュニケ) We commit to realizing the transformation of the economic and social system towards net-zero, circular, climate-resilient, pollution-free and nature-positive economies and to halting and reversing biodiversity loss by 2030, in an integrated manner, while ensuring sustainable and inclusive economic growth and development and enhancing the resilience of our economies. Highlighting that enhancing resource efficiency and circularity along value chains reduces primary resource use and contributes to achieving our climate and other environmental goals, we encourage stakeholders and in particular businesses to strengthen their action. Thus, we endorse the Circular Economy and Resource Efficiency Principles (CEREP). We will increase domestic and international environmentally-sound, sustainable and efficient recovery and recycling of critical minerals and raw materials and other applicable materials while increasing circularity along the supply chains.

(仮訳)

我々は、持続可能で包摂的な経済成長及び発展を確保し、経済の強靱性を高めつつ、経済及び社会システムをネット・ゼロで、循環型で、気候変動に強靱で、汚染のない、ネイチャーポジティブな経済へ転換すること、及び2030年までに生物多様性の損失を止めて反転させることを統合的に実現することにコミットする。我々は、バリューチェーンにおける資源効率性及び循環性の向上が一次資源の使用量を削減し、気候変動やその他の環境目標の達成に貢献することを強調し、ステークホルダー、特に企業に対し、そうした行動を強化することを奨励する。したがって、我々は、循環経済・資源効率性原則（CEREP）を承認する。我々は、サプライチェーンにおける循環性を高めつつ、国内及び国際的な重要鉱物や原材料、その他の適用可能な原料の環境上適正で、持続可能かつ効率的な回収及びリサイクルを増やす。